

## 第3編 建設候補地選定

### 第1章 基本的な考え方

候補地選定は、町田市全域を対象に白紙の状態から検討をスタートし、より多くの皆さんに検討の内容をお知らせし、意見をいただけるように検討の初期段階から市民意見募集を行うなど、積極的な情報提供と市民意見の反映の機会を設けるよう努めた。

選定項目の決定にあたっては、各段階で市民の皆さんに意見をいただき、選定の経過とその結果が客観的基準で導かれた公平なものになるよう、見直しを重ねた。

#### 第1節 検討概要

町田市全域を対象に都市計画に整合した熱回収施設等と資源ごみ処理施設の建設候補地を選定した。

##### (1) 作業の進め方

他市の事例や町田市の特性等を考慮した案を作成して市民意見募集で意見を募り、3つの選定ステップを設定した。

第一次・第二次選定の選定条件や選定結果(案)、第三次選定の評価項目や配点(案)を基に市内7箇所でご2回意見交換会を開催するとともに意見募集を実施し、これらを参考に見直しを行った。

##### (2) 検討項目の概要

第一次選定では、安全性や環境保全等の観点から設定されている現状の法的制約条件や町田市の既往の土地利用計画に基づき、施設の建設ができない地域を除外した。

第二次選定では、施設を効率的に機能させるために収集・運搬の効率、地形等で候補地として不適と考えられる条件を検討した。それらを除外した地域の中から面積要件を満たした箇所を抽出した。

最終選定となる第三次選定では、選定された建設候補地について機能／維持管理、土地利用、経済性、余熱等利用、分散化の評価項目を設定し、熱回収施設等・資源ごみ処理施設の候補地に対して重視すべきものの重み付け(配点)を行った。それを基に点数付け、ランク付けを行った。

##### (3) 施設の分散化

一極集中ではなく、施設を分散化するために整備基本計画専門部会で検討された施設の分散ケース(第2編第3章第3節「施設の配置と分散化」)の最低必要面積を候補地選定の面積要件としている。

評価項目として熱回収施設等からの距離と資源ごみ処理施設どうしの距離を設定し、熱回収施設等ごとに2つの候補地を組み合わせた評価を行った。

(4) その他

新たに整備を予定しているバイオガス化施設やごみの資源化施設に類似した施設、また候補地に選定されたエリアは現地視察を行い、評価項目や配点の検討に反映している。

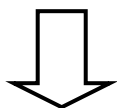
## 第2章 選定のながれ

2011.9～2011.11 検討

検討の進め方

他市の事例や町田市の特徴等を考慮し、選定の進め方について検討した。

参考資料「ごみ処理施設整備の計画・設計要領」2006年改訂版社団法人全国都市清掃会議



2011.11～12.5 意見募集

選定のプロセスや検討の基本的な考え方必要な視点について意見募集

2011.9～2012.1 検討

第一次選定

1/26 第7回委員会承認

災害に対する安全性や環境保全等の観点から設定されている現状の法的制約条件や既往の土地利用計画に基づき、施設の建設ができない地域を候補地から除外した。



2012.2.16～3.11 意見交換会(市内7箇所) 2012.2.16～3.21 意見募集

施設の建設に必要な条件、効率性等を整理し、抽出したエリア案(第二次選定項目に基づき検討対象となる地域)と、抽出された候補地比較評価(第三次選定評価項目)を行う項目について意見募集

2011.9～2012.7 検討

第二次選定

7/6 第10回委員会承認

施設を効率的に機能させるために、収集・運搬の効率、地形等で候補地として不適と考えられる条件を検討した。それらを除外した地域の中から面積要件を満たした箇所を抽出した。



2012.7.26～8.1 意見交換会(市内7箇所) 2012.7.26～8.10 意見募集

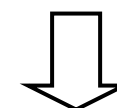
第三次選定の評価項目について意見募集

2012.6～2012.10 検討

第三次選定

10/4 第12回委員会承認

選定された建設候補地について、機能/維持管理、土地利用、経済性、余熱等利用、分散化の評価項目を設定し、熱回収施設等・資源ごみ処理施設の候補地に対して重視すべき項目の重み付け(配点)を検討した。



2012.10～2012.11 検討

検討結果報告

11/22 第13回委員会承認

第三次選定の配点に基づき点数付けされた結果をグループ分けし、熱回収施設等と資源ごみ処理施設の候補地として優位となった組み合わせを報告した。

## 第1節 選定の手順

・町田市全域を対象に以下の手順で行った。

	検討項目	検討項目の詳細
一次選定	(1) 法的制約条件への適合	以下のエリアを除外する。 ①防災に関する地域（浸水予想区域、土石流危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所）（洪水ハザードマップ） ②自然保護に関する地域（国立・国定公園区域、都立自然公園区域、自然環境保全地域） ③鳥獣保護に関する地域（鳥獣保護区域内の特別保護地区） ④文化財保護に関する地域（埋蔵文化財、国指定文化財、県指定文化財） ⑤農業地域（農用地区域） ⑥森林地域（保安林） ⑦世界遺産：緩衝地帯
	(2) 災害・環境に対する安全性	以下のエリアを除外する。 ①活断層からの距離：50m以内（都市圏活断層図） ②湿地：湿地範囲 ③水道水源の取水地点：半径1km以内
	(3) 既往の土地利用との整合	①既往の土地利用との整合を考慮し、住居系地域、商業系地域は原則的に除外する。（町田都市計画図） ②市街化調整区域において、都市計画公園、都市計画緑地は除外する。 ③都市緑地法の「特別緑地保全地区」、東京における自然の保護と回復に関する条例の「歴史環境保全地域」、「緑地保全地域」を除外する。
二次選定	(4) 物理的制約条件への適合	施設を建設するために最低限必要となる面積を確保できる箇所を選定する。 用地確保が困難な場合や収集・運搬効率を考慮した場合、数箇所に分散して整備する可能性がある。
	(5) 収集・運搬の効率	2車線道路からの距離を考慮し、以下のエリアを除外する。 ①2車線道路からの距離：500m以上
	(6) 地形・地質条件	地形勾配が大きく、建設に不適と考えられるエリアを除外する。 ①平均勾配：20%以上
	(7) 用地取得の可能性	現在の市有地の活用について検討する。 民有地について検討する。
三次選定	(8) 評価項目の重み付け	機能面、環境面、土地利用面、経済面、維持管理面、余熱等利用面などのうち、候補地選定の視点として重視すべきものの重み付けを行う。特に「市民の森」、「緑地保全の森」等の保全に配慮する。また、評価項目に「市境からの距離」を追加する。
	(9) 比較評価	上記の視点から候補エリアの評価を行い、比較して最も合理的と考えられる箇所を選定する。

※1 ① 焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設の3施設と②資源ごみ処理施設について、第一次、第二次選定までは共通の検討項目で選定を行い、第三次選定以降①と②は別々の検討項目で選定を行う。

※2 2011年10月7日より、「市民の森」と「緑地保全の森」は制度上統合された。

## 第2節 各選定段階の結果

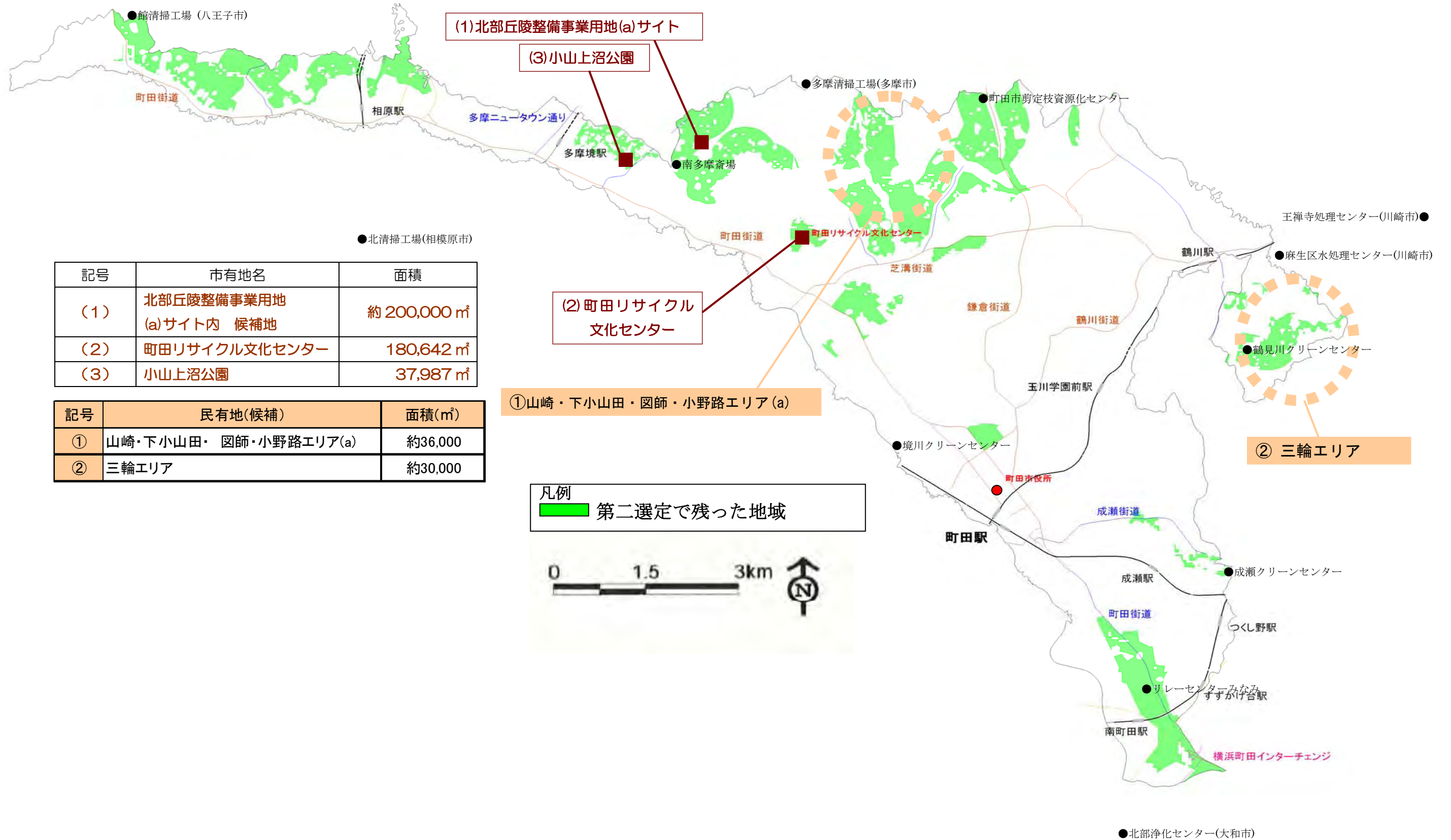
### (1) 第一次選定結果

災害に対する安全性や環境保全等の観点から設定されている現状の法的制約条件や既往の土地利用計画に基づき、施設の建設ができない地域を除外した。

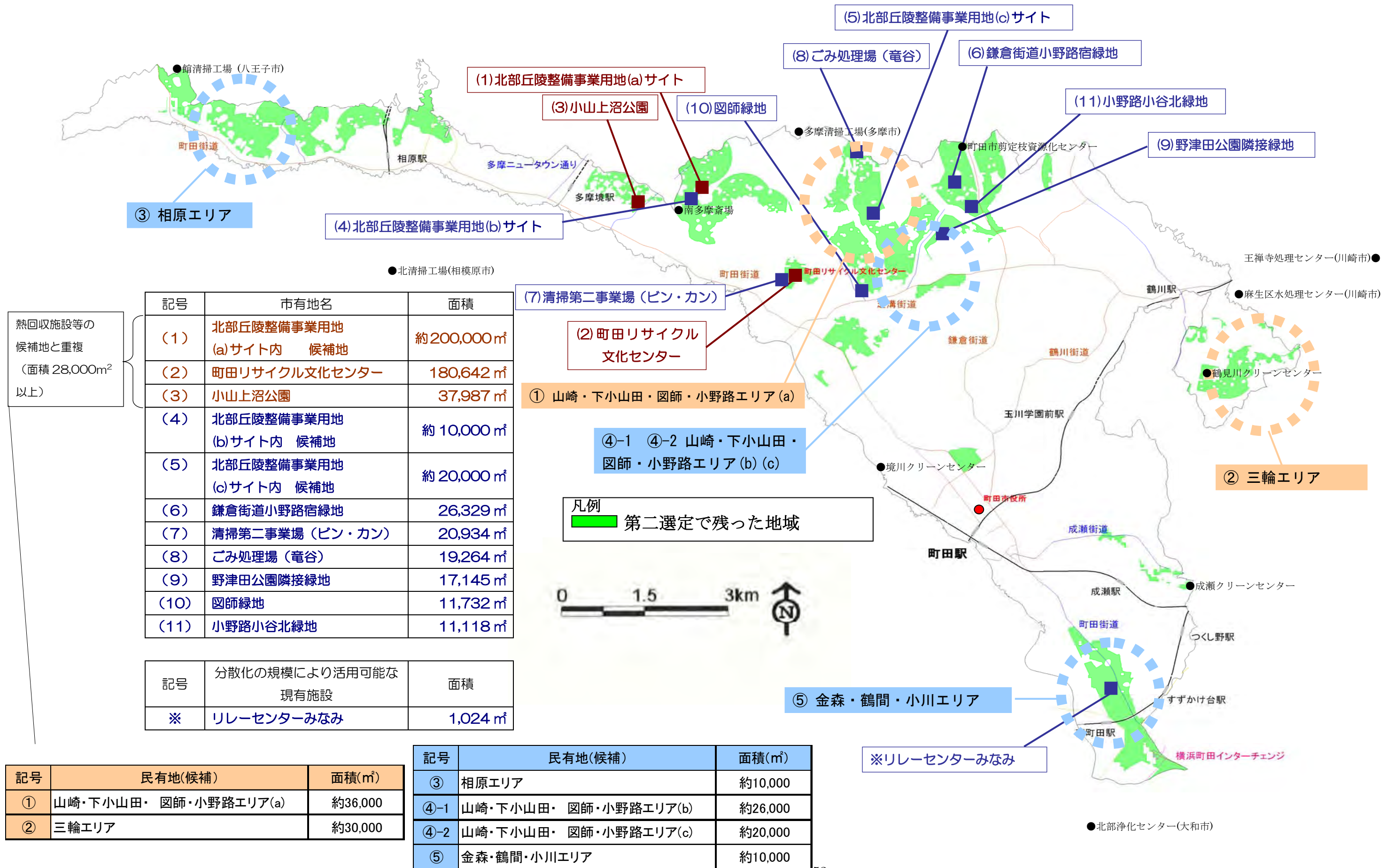


(2) - 1 第二次選定結果 [熱回収施設等 (焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設)]

施設を効率的に機能させるために、収集・運搬の効率、地形等で候補地として不適と考えられる条件を検討した。それらを除外した地域の中から面積要件を満たした箇所を抽出した。



(2) - 2 第二次選定結果 (資源ごみ処理施設)



(2) - 3 第三次選定評価の前段階で除外された候補地

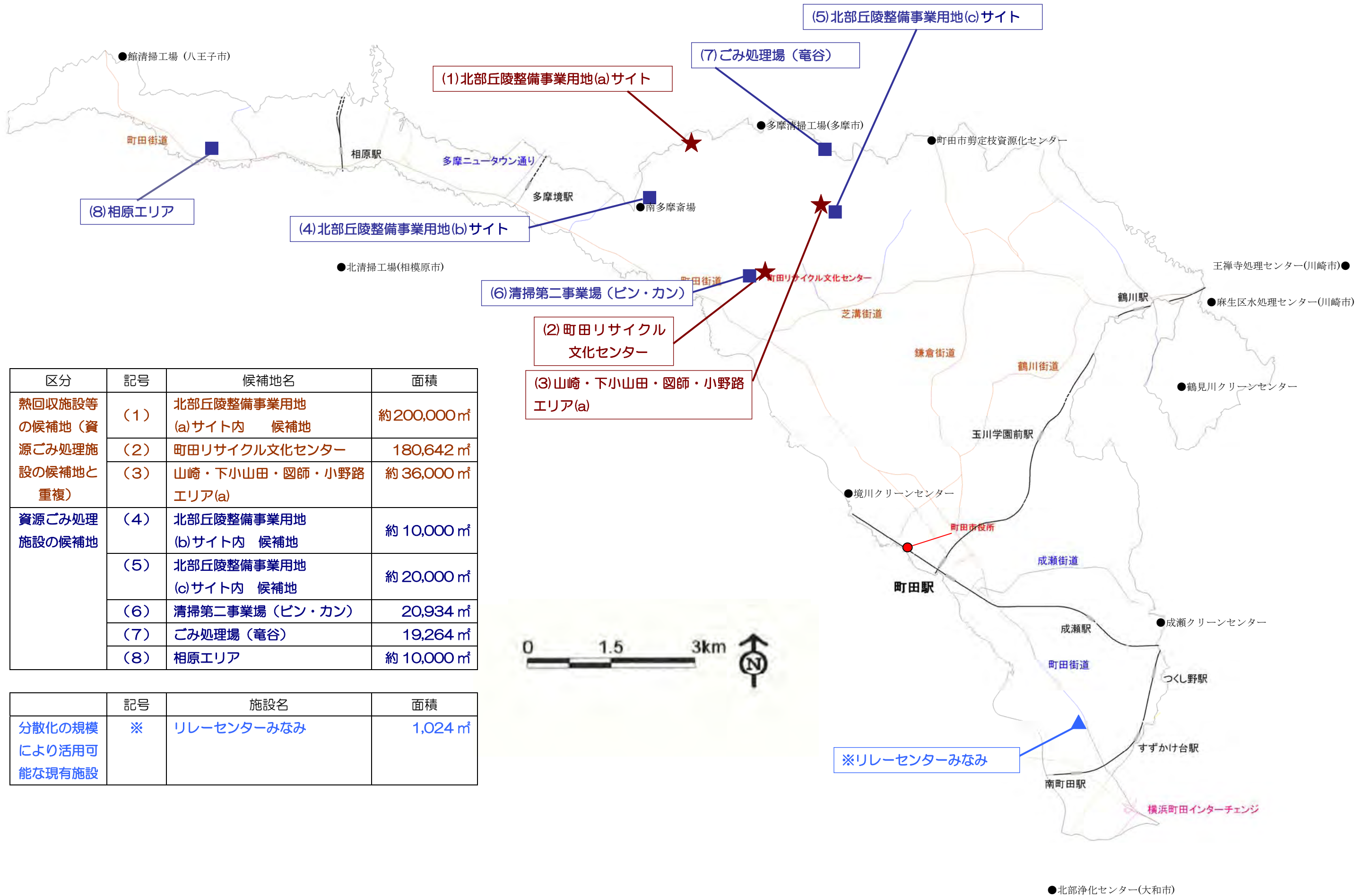
第三次選定の評価を行う前に、第二次選定結果において残った候補地のうち、現実的に施設整備が困難な候補地を除外した。残った候補地を以下に示す。

第二次選定結果		
↓ 以下の候補地を除外		
	除外候補地	除外理由
熱回収施設等の候補地	小山上沼公園	地区計画（住民等の意見を反映して、街並みなどその地区独自のまちづくりのルールをきめ細かく定めたもの）の対象範囲となっている。
	三輪エリア	平場面積が必要最低条件を満たさず、施設の配置ができない（急傾斜地崩壊危険箇所を含む）。
資源ごみ処理施設の候補地	鎌倉街道小野路宿緑地	平場面積が必要最低面積を満たさず、施設の配置ができない。
	野津田公園隣接緑地	
	函師緑地	
	小野路小谷北緑地	民有地で地権者の合意が得られない。
	山崎・下小山田・函師・小野路エリア(b)	
	山崎・下小山田・函師・小野路エリア(c)	
	金森・鶴間・小川エリア(c)	
三輪エリア	施設の配置ができない。	

	残った候補地
熱回収施設等の候補地 (資源ごみ処理施設の候補地と重複)	北部丘陵整備事業用地(a)サイト内 候補地
	町田リサイクル文化センター
	山崎・下小山田・函師・小野路エリア(a)
資源ごみ処理施設の候補地	北部丘陵整備事業用地(b)サイト内 候補地
	北部丘陵整備事業用地(c)サイト内 候補地
	清掃第二事業場（ビン・カン）
	ごみ処理場（竜谷）
	相原エリア
分散化の規模により活用可能な現有施設	リレーセンターみなみ



(3) 第三次選定評価を行う候補地の位置図



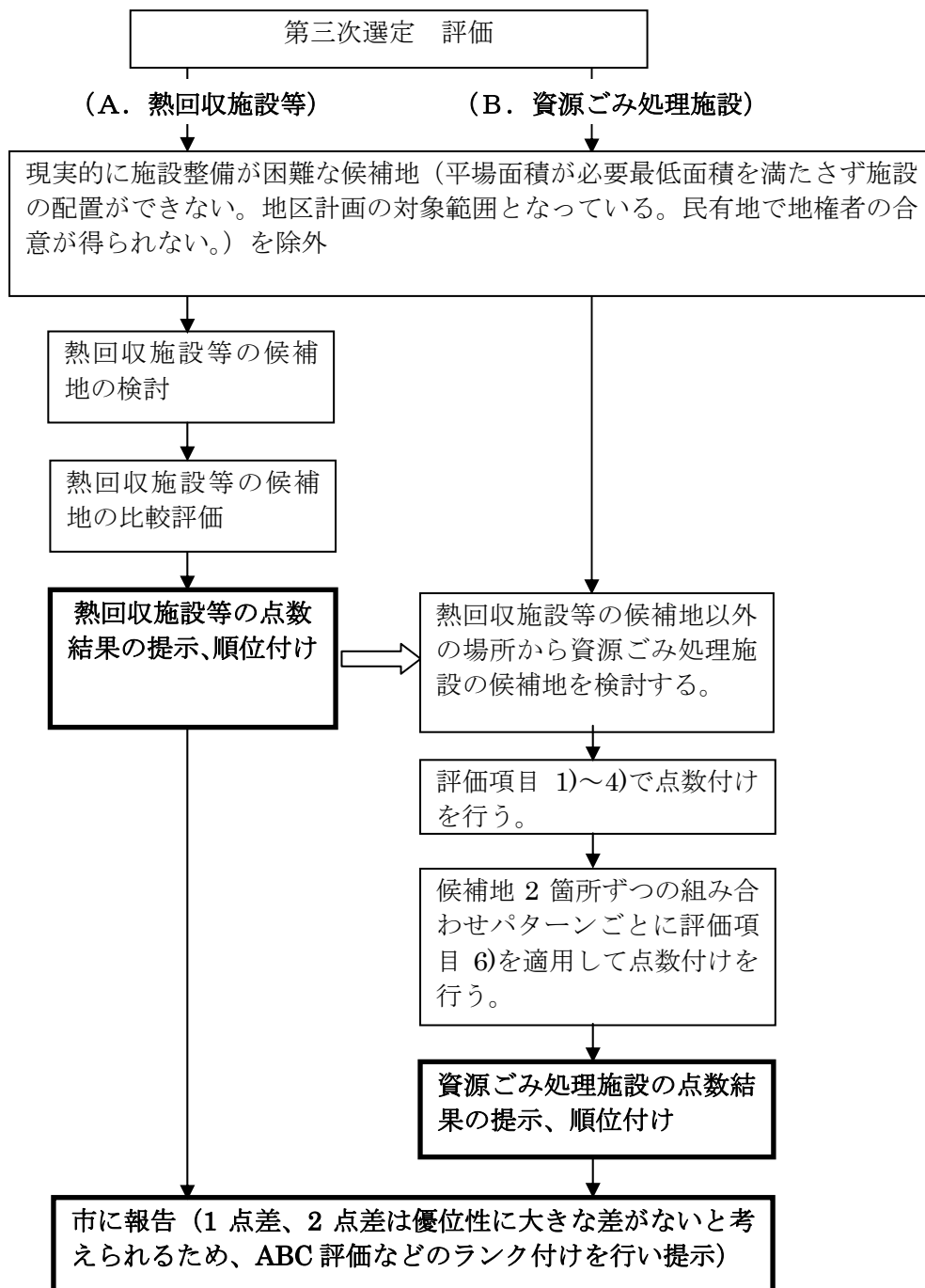
区分	記号	候補地名	面積
熱回収施設等の候補地(資源ごみ処理施設の候補地と重複)	(1)	北部丘陵整備事業用地(a)サイト内 候補地	約200,000㎡
	(2)	町田リサイクル文化センター	180,642㎡
	(3)	山崎・下小山田・図師・小野路エリア(a)	約36,000㎡
資源ごみ処理施設の候補地	(4)	北部丘陵整備事業用地(b)サイト内 候補地	約10,000㎡
	(5)	北部丘陵整備事業用地(c)サイト内 候補地	約20,000㎡
	(6)	清掃第二事業場(ピン・カン)	20,934㎡
	(7)	ごみ処理場(竜谷)	19,264㎡
	(8)	相原エリア	約10,000㎡

	記号	施設名	面積
分散化の規模により活用可能な現有施設	※	リレーセンターみなみ	1,024㎡

### 第3節 評価方法

#### (1) 点数付けのながれ

資源ごみ処理施設の評価項目「6)施設の分散化」を考慮した場合、第三次選定において考えられる選定フローは以下の通りである。全ての組み合わせパターンでの点数付けを行う。

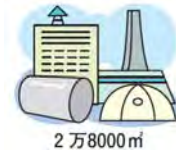


当委員会が評価結果を町田市に報告し、それを受けて町田市が候補地を最終決定する。

(2) 評価項目及び配点

評価項目		熱回収施設等（焼却及び バイオガス化施設、不 燃・粗大ごみ処理施設）		資源ごみ処理施設	
		重み付け (配点)		重み付け (配点)	
1)機能 ／維持 管理	①-1 敷地の形状	6	25	5	19
	①-2 地盤状況等	6		4	
	②開発行為や建築行為に対す る規制等	6		5	
	③収集運搬の効率	7		5	
2)環境	①緑地等の保全、希少動植物 の保全・配慮	14	26	10	22
	②水源地の保全	6		7	
	③周辺道路の整備状況	6		5	
3)土地 利用	①教育・福祉施設等への配慮	6	25	6	23
	②類似施設の状況	10		10	
	③地域住民の居住状況	8		6	
	④市境からの距離	1		1	
4) 経 済 性	①用地取得費	7	16	5	13
	②初期整備費、ライフライン 整備費	9		8	
5)余熱 等利用	①熱利用施設等、バイオガス 利用施設の有無	6	8	/	
	②バス拠点等の有無	2			
6)施設 の分散 化	①熱回収施設等からの距離	/		10	23
	②資源化施設どうしの距離			13	
合計		100		100	

### 第3章 選定結果



#### 第1節 熱回収施設等

最低必要面積が 28,000 m<sup>2</sup>以上の 3 箇所が選定された。

熱回収施設等(焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設)の建設を予定している。

検討結果は、現有施設である町田リサイクル文化センターが 2)環境、4)経済性の項目で高評価を得てA評価、他の2箇所はB評価となった。

	番号	(1)		(2)		(3)		配点		
		候補地名	北部丘陵整備事業用地(a)サイト内候補	町田リサイクル文化センター	山崎・下小山田・凶師・小野路エリア	面積	28,000m <sup>2</sup> 以上	180,642m <sup>2</sup>	約36,000m <sup>2</sup>	小項目ごとの配点
		所在地	上小山田町	下小山田町3160番地	小野路町665					
		区域	市街化調整区域	準工業地域	市街化調整区域					
			点数	点数	点数					
評価項目	1)機能／維持管理	①-1敷地の形状	6	6	6	6	6	6	6	25
		①-2地盤状況等	6	6	4	6	6			
		②開発行為や建築行為に対する規制等	2	2	2	2	6			
		③収集運搬の効率	2	5	4	7				
	2)環境	①緑地等の保全、希少動植物の保全・配慮	0	11	2	14	26			
		②水源地の保全	2	3	2	6				
		③周辺道路の整備状況	0	6	0	6				
	3)土地利用	①教育・福祉施設等への配慮	2	0	1	6	25			
		②類似施設の状況	10	0	10	10				
		③地域住民の居住状況	7	7	8	8				
		④市境からの距離	0	1	1	1				
	4)経済性	①用地取得費	7	7	2	7	16			
		②初期整備費、ライフライン整備費	4	4	3	9				
	5)余熱等利用	①熱利用施設、バイオガス利用施設の有無	0	6	4	6	8			
		②バス拠点等の有無	0	1	0	2				
総合得点		48	65	49	100					
ランク		<b>B</b>	<b>A</b>	<b>B</b>						

#### ランク付けの方法

点数の開きのある箇所を区切りとしてA、Bのランクに分けた。

熱回収施設等における配点結果

評価項目	番号		(1)		(2)		(3)		配点			
	候補地名		北部丘陵整備事業用地(a)サイト内候補地		町田リサイクル文化センター		山崎・下小山田・図師・小野路エリア(a)		小項目ごとの配点	大項目ごとの配点		
	面積		約 200,000 m <sup>2</sup>		180,642 m <sup>2</sup>		約 76,800 m <sup>2</sup>					
	所在地		上小山田町		下小山田町 3160 番地		小野路町 665					
	区域		市街化調整区域		準工業地域		市街化調整区域					
			点数		点数		点数					
1) 機能／維持管理	①-1 敷地の形状	平場面積が必要最低面積以上確保でき、施設配置にも問題はない。	6	16	平場面積が必要最低面積以上確保でき、施設配置にも問題はない。	6	19	平場面積が必要最低面積以上確保でき、施設配置にも問題はない。	6	16	6	25
	①-2 地盤状況等	「表層地盤のゆれやすさ」では黄緑色評価	6		「表層地盤のゆれやすさ」では黄緑色評価	6		「表層地盤のゆれやすさ」では黄色評価	4		6	
	②開発行為や建築行為に対する規制等	都市計画決定が必要である。	2		都市計画決定が必要である。	2		都市計画決定が必要である。	2		6	
	③収集運搬の効率	総トリップ：634,113km	2		総トリップ：461,879km	5		総トリップ：500,385km	4		7	
2) 環境	①緑地等の保全、希少動植物の保全・配慮	・「水と緑の拠点」「保全候補地」に該当 ・「鶴見川源流保水の森」として、NPO 法人 鶴見川源流ネットワークを主体に自然環境を保全する活動が進められている。	0	2	・敷地内に一部樹林地がある。	11	20	・「水と緑の拠点」「保全候補地」に該当	2	4	14	26
	②水源地の保全	【候補地からの距離】 ・河川：野中谷戸川 194m ・湧水：鶴見川源流の泉 424m	2		【候補地からの距離】 ・河川：馬駟川 280m ・湧水：半径 500m 以内になし	3		【候補地からの距離】 ・河川：滝沢第 1 用水 110m ・湧水：半径 500m 以内になし	2		6	
	③周辺道路の整備状況	・候補地は道路に面していない。 ・候補地に面するような形で道路整備が行われる予定はない。	0		・歩道を持つ 2 車線道路に面している。	6		・候補地は道路に面していない。 ・候補地に面するような形で道路整備が行われる予定はない。	0		6	
3) 土地利用	①教育・福祉施設等への配慮	【半径 500m 以内の施設数】 ・教育施設：4 (八王子市立別所小学校、大妻女子大、大妻多摩中学校、大妻多摩高校) ・福祉施設：0 ・通学路：小山田小学校の通学路は 283m の距離にある。	2	19	【半径 500m 以内の施設数】 ・教育施設：3 (桜美林大学、桜美林幼稚園、図師小学校) ・福祉施設：4 (ニーズセンター花の家、特別養護老人ホーム町田誠心園、町田市大賀藕絲館、ふれあいさくら館) ・通学路：図師小学校の通学路は敷地に接している。	0	8	【半径 500m 以内の施設数】 ・教育施設：1 (日本大学第三高等学校) ・福祉施設：1 (ロイヤルライフ多摩) ・通学路：小山田小学校の通学路は 87m の距離にある。	1	20	6	25
	②類似施設の状況	【候補地からの距離】 多摩清掃工場：886m	10		【候補地からの距離】 町田市最終処分場に隣接している。	0		【候補地からの距離】 町田市最終処分場：1,523m	10		10	
	③地域住民の居住状況	人口密度：1,541 人/km <sup>2</sup> (忠生地区上小山田町)	7		人口密度：1,755 人/km <sup>2</sup> (忠生地区下小山田町と忠生地区図師町それぞれの人口、面積から算出)	7		人口密度：1,016 人/km <sup>2</sup> (忠生地区下小山田町と鶴川地区小野路町それぞれの人口、面積から算出)	8		8	
	④市境からの距離	市境に隣接 (多摩市)	0		973m (相模原市)	1		734m (多摩市)	1		1	
4) 経済性	①用地取得費	0 円 (市有地のため)	7	11	0 円 (市有地のため)	7	11	用地価格：15 億 2,320 万円	2	5	7	16
	②初期整備費、ライフライン整備費	【合計】：9 億 1,624 万円 ・造成費：5 億 9,980 万円 ・進入路整備費：2 億 280 万円 ・ライフライン整備費：1 億 1,364 万円	4		【合計】：10 億 2,600 万円 ・造成費：4 億 2,290 万円 ・進入路 (立体交差) 整備費：1 億 8,510 万円 ・建物解体費：4 億円 ・ライフライン整備費：1,800 万円	4		【合計】：10 億 9,020 万円 ・造成費：9 億 5,550 万円 ・進入路整備費：8,300 万円 ・ライフライン整備費：5,170 万円	3		9	
5) 余熱等利用	①熱利用施設、バイオガス利用施設の有無	【半径 500m 以内の施設数】 ・福祉施設：0 ・病院：0 ・工場：0	0	0	【半径 500m 以内の施設数】 ・福祉施設：4 (ニーズセンター花の家、特別養護老人ホーム町田誠心園、町田市大賀藕絲館、ふれあいさくら館) ・病院：0 ・工場：0	6	7	【半径 500m 以内の施設数】 ・福祉施設：1 (ロイヤルライフ多摩) ・病院：1 (多摩丘陵病院) ・工場：0	4	4	6	8
	②バス拠点等の有無	候補地はバス路線に面していない。	0		バス路線数：3	1		候補地はバス路線に面していない。	0		2	
総合得点			48		65		49	100				

## 第2節 資源ごみ処理施設

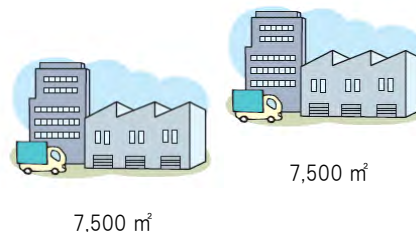
資源ごみ処理施設の候補地は、整備基本計画専門部会で検討された分散ケース(第2編第3章第3節「施設の配置と分散化」)の最低必要面積 7,500 m<sup>2</sup>を最低必要面積として選定された下記の8箇所と現有施設「リレーセンターみなみ(※)」を合わせて9箇所が選定された。

- (1) 北部丘陵整備事業用地(a)サイト内候補地
- (2) 町田リサイクル文化センター
- (3) 山崎・下小山田・図師・小野路エリア(a)
- (4) 北部丘陵整備事業用地(b)サイト内候補地
- (5) 北部丘陵整備事業用地(c)サイト内候補地
- (6) 清掃第二事業場 (ビン・カン)
- (7) ごみ処理場 (竜谷)
- (8) 相原エリア

※リレーセンターみなみ：面積要件等を満たしていないが、施設の規模により既存の施設を有効利用し、施設の分散化に貢献する候補地として位置づけられた。

以下の8施設の建設を予定しており、候補地の形状に合わせて配置する。

- ① 容器包装プラスチック圧縮梱包施設
- ② カン選別処理施設
- ③ ビン選別処理施設
- ④ ペットボトル圧縮梱包施設
- ⑤ トレイ・紙パック貯留場所
- ⑥ 有害ごみ貯留場所
- ⑦ 製品プラスチック貯留場所
- ⑧ 使用済小型電子機器等貯留場所



評価項目 1)~4)は熱回収施設等の評価項目と同様だが、評価項目 6)分散化の評価は、熱回収施設等からの距離と2つの資源ごみ処理施設どうしの距離が点数付けの基準となっているため、選定された3つの熱回収施設ごとに組み合わせが可能な資源ごみ処理施設の評価を行っている。(2)と(6)、(3)と(5)はそれぞれが隣接していることより評価対象から除外した)

また候補地ごとに確保できる平場面積が異なるため配置可能な施設の組み合わせパターン数は異なる。



【建設候補地の様子】



【部会での検討風景】

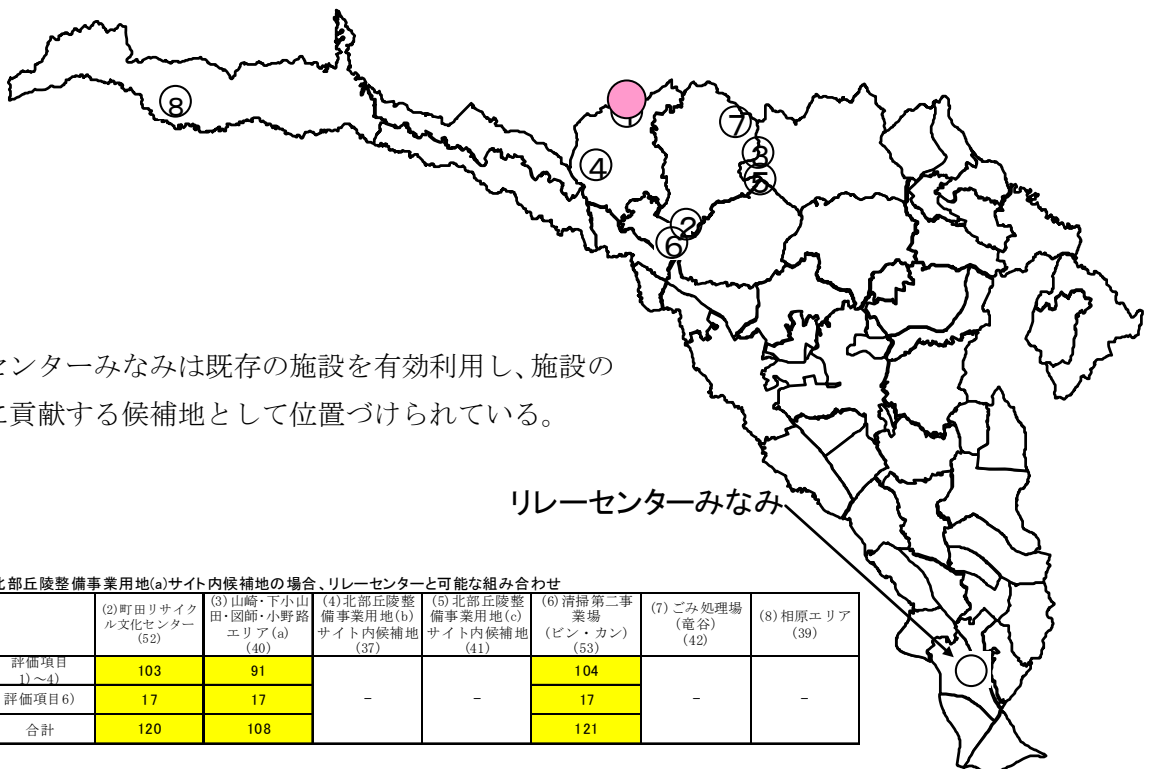


【熱回収施設等の候補地が「(1)北部丘陵整備事業用地(a)」の場合】

熱回収施設等が「(1)北部丘陵整備事業用地(a)」となった場合の資源ごみ処理施設の組み合わせは13パターンあり、評価は以下のとおりとなる。

評価項目 1)機能/維持管理 2)環境 3)土地利用 4)経済性 6)分散化

資源ごみ処理施設の組み合わせパターン		評価項目 1)~4)の点数	評価項目 6)の点数	合計	順位	ランク
(6) 清掃第二事業場 (ビン・カン)	(8) 相原エリア	92	17	109	1	A
(2) 町田リサイクル 文化センター	(8) 相原エリア	91	17	108	2	
(6) 清掃第二事業場 (ビン・カン)	(7) ごみ処理場 (竜谷)	95	2	97	3	B
(2) 町田リサイクル 文化センター	(7) ごみ処理場 (竜谷)	94	2	96	4	
(3) 山崎・下小山田・図師・ 小野路エリア(a)	(8) 相原エリア	79	17	96	4	
(5) 北部丘陵整備事業用地 (c)サイト内候補地	(6) 清掃第二事業場 (ビン・カン)	94	2	96	4	
(2) 町田リサイクル 文化センター	(5) 北部丘陵整備事業用地 (c)サイト内候補地	93	2	95	7	
(3) 山崎・下小山田・図師・ 小野路エリア(a)	(6) 清掃第二事業場 (ビン・カン)	93	2	95	7	
(2) 町田リサイクル 文化センター	(3) 山崎・下小山田・図師・ 小野路エリア(a)	92	2	94	9	
(4) 北部丘陵整備事業用地 (b)サイト内候補地	(6) 清掃第二事業場 (ビン・カン)	90	2	92	10	
(2) 町田リサイクル 文化センター	(4) 北部丘陵整備事業用地 (b)サイト内候補地	89	2	91	11	
(3) 山崎・下小山田・図師・ 小野路エリア(a)	(7) ごみ処理場 (竜谷)	82	2	84	12	
(3) 山崎・下小山田・図師・ 小野路エリア(a)	(4) 北部丘陵整備事業用地 (b)サイト内候補地	77	2	79	13	



※ リレーセンターみなみは既存の施設を有効利用し、施設の分散化に貢献する候補地として位置づけられている。

熱回収施設が(1)北部丘陵整備事業用地(a)サイト内候補地の場合、リレーセンターと可能な組み合わせ

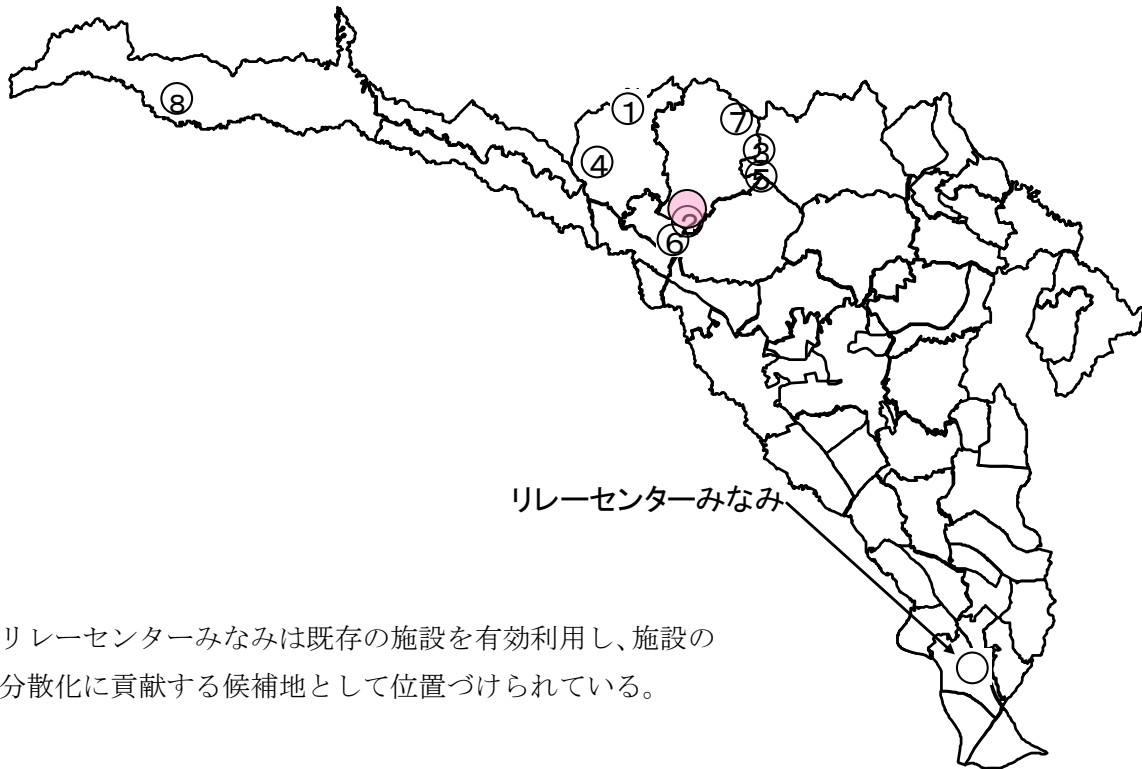
		(2)町田リサイクル 文化センター (52)	(3)山崎・下小山田・ 図師・小野路 エリア(a) (40)	(4)北部丘陵整備 事業用地(b) サイト内候補地 (37)	(5)北部丘陵整備 事業用地(c) サイト内候補地 (41)	(6)清掃第二事 業場 (ビン・カン) (53)	(7)ごみ処理場 (竜谷) (42)	(8)相原エリア (39)
リレーセン ターみなみ (51)	評価項目 1)~4)	103	91	-	-	104	-	-
	評価項目6)	17	17	-	-	17	-	-
	合計	120	108	-	-	121	-	-

【熱回収施設等の候補地が「(2)町田リサイクル文化センター」の場合】

熱回収施設等が「(2)町田リサイクル文化センター」となった場合の資源ごみ処理施設の組み合わせは8パターンあり、評価は以下のとおりとなる。

評価項目 1)機能/維持管理 2)環境 3)土地利用 4)経済性 6)分散化

資源ごみ処理施設の組み合わせパターン		評価項目 1)~4)の点数	評価項目 6)の点数	合計	順位	ランク
(1) 北部丘陵整備事業用地 (a)サイト内候補地	(8) 相原エリア	82	14	96	1	A
(3) 山崎・下小山田・図師・ 小野路エリア(a)	(8) 相原エリア	79	17	96	1	
(1) 北部丘陵整備事業用地 (a)サイト内候補地	(7) ごみ処理場 (竜谷)	85	2	87	3	B
(1) 北部丘陵整備事業用地 (a)サイト内候補地	(5) 北部丘陵整備事業用地 (c)サイト内候補地	84	2	86	4	
(1) 北部丘陵整備事業用地 (a)サイト内候補地	(3) 山崎・下小山田・図師・ 小野路エリア(a)	83	2	85	5	
(3) 山崎・下小山田・図師・ 小野路エリア(a)	(7) ごみ処理場 (竜谷)	82	2	84	6	
(1) 北部丘陵整備事業用地 (a)サイト内候補地	(4) 北部丘陵整備事業用地 (b)サイト内候補地	80	2	82	7	
(3) 山崎・下小山田・図師・ 小野路エリア(a)	(4) 北部丘陵整備事業用地 (b)サイト内候補地	77	2	79	8	



※ リレーセンターみなみは既存の施設を有効利用し、施設の分散化に貢献する候補地として位置づけられている。

熱回収施設が(2)リサイクル文化センターの場合、リレーセンターと可能な組み合わせ

		(1) 北部丘陵整備事業用地(a) サイト内候補地 (43)	(3) 山崎・下小山田・図師・小野路 エリア(a) (40)	(4) 北部丘陵整備事業用地(b) サイト内候補地 (37)	(5) 北部丘陵整備事業用地(c) サイト内候補地 (41)	(6) 清掃第二事業場 (ピン・カン) (53)	(7) ごみ処理場 (竜谷) (42)	(8) 相原エリア (39)
リレーセンターみなみ (51)	評価項目 1)~4)	94	91	-	-	104	-	-
	評価項目6)	17	14	-	-	14	-	-
	合計	111	105	-	-	118	-	-



【熱回収施設等の候補地が「(3)山崎・下小山田・図師・小野路エリア(a)」の場合】

熱回収施設等が「(3)山崎・下小山田・図師・小野路エリア(a)」となった場合の資源ごみ処理施設の組み合わせは11パターンあり、評価は以下のとおりとなる。

評価項目 1)機能/維持管理 2)環境 3)土地利用 4)経済性 6)分散化

資源ごみ処理施設の組み合わせパターン		評価項目 1)~4)の点数	評価項目 6)の点数	合計	順位	ランク
(6) 清掃第二事業場 (ビン・カン)	(8) 相原エリア	92	20	112	1	A
(2) 町田リサイクル 文化センター	(8) 相原エリア	91	17	108	2	
(1) 北部丘陵整備事業用地 (a)サイト内候補地	(8) 相原エリア	82	17	99	3	B
(1) 北部丘陵整備事業用地 (a)サイト内候補地	(6) 清掃第二事業場 (ビン・カン)	96	2	98	4	
(1) 北部丘陵整備事業用地 (a)サイト内候補地	(2) 町田リサイクル 文化センター	95	2	97	5	
(6) 清掃第二事業場 (ビン・カン)	(7) ごみ処理場 (竜谷)	95	0	95	6	
(2) 町田リサイクル 文化センター	(7) ごみ処理場 (竜谷)	94	0	94	7	
(4) 北部丘陵整備事業用地 (b)サイト内候補地	(6) 清掃第二事業場 (ビン・カン)	90	2	92	8	
(2) 町田リサイクル 文化センター	(4) 北部丘陵整備事業用地 (b)サイト内候補地	89	2	91	9	
(1) 北部丘陵整備事業用地 (a)サイト内候補地	(7) ごみ処理場 (竜谷)	85	0	85	10	C
(1) 北部丘陵整備事業用地 (a)サイト内候補地	(4) 北部丘陵整備事業用地 (b)サイト内候補地	80	2	82	11	



※ リレーセンターみなみは既存の施設を有効利用し、施設の分散化に貢献する候補地として位置づけられている。

熱回収施設が(3)山崎・下小山田・図師・小野路エリア(a)の場合、リレーセンターと可能な組み合わせ

		(1) 北部丘陵整備事業用地(a)サイト内候補地 (43)	(2) 町田リサイクル文化センター (52)	(4) 北部丘陵整備事業用地(b)サイト内候補地 (37)	(5) 北部丘陵整備事業用地(c)サイト内候補地 (41)	(6) 清掃第二事業場(ビン・カン) (53)	(7) ごみ処理場(竜谷) (42)	(8) 相原エリア (39)
リレーセンターみなみ (51)	評価項目 1)~4)	94	103	-	-	104	-	-
	評価項目 6)	17	14	-	-	14	-	-
	合計	111	117	-	-	118	-	-

資源ごみ処理施設における配点結果(「6)施設の分散化」を除く)

	番号	(1)		(2)		(3)		配点					
		候補地名	北部丘陵整備事業用地(a)サイト内候補地	町田リサイクル文化センター	山崎・下小山田・図師・小野路エリア(a)	小項目ごとの配点	大項目ごとの配点						
	面積	約 200,000 m <sup>2</sup>		180,642 m <sup>2</sup>		約 76,800 m <sup>2</sup>							
	所在地	上小山田町		下小山田町 3160 番地		小野路町 665							
	区域	市街化調整区域		準工業地域		市街化調整区域							
			点数		点数		点数						
評価項目	1) 機能／維持管理	①-1 敷地の形状	平場面積が 11,700m <sup>2</sup> 以上	5	14	平場面積が 11,700m <sup>2</sup> 以上	5	16	平場面積が 11,700m <sup>2</sup> 以上	5	13	5	19
		①-2 地盤状況等	「表層地盤のゆれやすさ」では黄緑色評価	4		「表層地盤のゆれやすさ」では黄緑色評価	4		「表層地盤のゆれやすさ」では黄色評価	2		4	
		②開発行為や建築行為に対する規制等	都市計画決定が必要である。	2		都市計画決定が必要である。	2		都市計画決定が必要である。	2		5	
		③収集運搬の効率	総トリップ：634,113km	3		総トリップ：461,879km	5		総トリップ：500,3855km	4		5	
	2) 環境	①緑地等の保全、希少動植物の保全・配慮	・「水と緑の拠点」「保全候補地」に該当 ・「鶴見川源流保水の森」として、NPO 法人 鶴見川源流ネットワークを主体に自然環境を保全する活動が進められている。	0	1	・敷地の一部が樹林地に該当するが、施設を配置する場所は樹林地に影響を及ぼさない。	10	17	・「水と緑の拠点」「保全候補地」に該当	1	2	10	22
		②水源地の保全	【候補地からの距離】 ・河川：野中谷戸川 194m ・湧水：鶴見川源流の泉 424m	1		【候補地からの距離】 ・河川：馬駈川 280m ・湧水：半径 500m 以内になし	2		【候補地からの距離】 ・河川：滝沢第 1 用水 110m ・湧水：半径 500m 以内になし	1		7	
		③周辺道路の整備状況	・候補地は道路に面していない。 ・候補地に面するような形で道路整備が行われる予定はない。	0		・歩道を持つ 2 車線道路に面している。	5		・候補地は道路に面していない。 ・候補地に面するような形で道路整備が行われる予定はない。	0		5	
	3) 土地利用	①教育・福祉施設等への配慮	【半径 500m 以内の施設数】 ・教育施設：4 (八王子市立別所小学校、大妻女子大、大妻多摩中学校、大妻多摩高校) ・福祉施設：0 ・通学路：小山田小学校の通学路は 283m の距離にある。	1	17	【半径 500m 以内の施設数】 ・教育施設：3 (桜美林大学、桜美林幼稚園、図師小学校) ・福祉施設：4 (ニーズセンター花の家、特別養護老人ホーム町田誠心園、町田市大賀藕絲館、ふれあいさくら館) ・通学路：図師小学校の通学路は敷地に接している。	0	7	【半径 500m 以内の施設数】 ・教育施設：1 (日本大学第三高等学校) ・福祉施設：1 (ロイヤルライフ多摩) ・通学路：小山田小学校の通学路は半径 87m の距離にある。	0	17	6	23
		②類似施設の状況	【候補地からの距離】 多摩清掃工場：886m	10		【候補地からの距離】 町田市最終処分場に隣接している。	0		【候補地からの距離】 町田市廃棄物最終処分場：1,523m	10		10	
		③地域住民の居住状況	人口密度：1,541 人/km <sup>2</sup> (忠生地区上小山田町)	6		人口密度：1,755 人/km <sup>2</sup> (忠生地区下小山田町と忠生地区図師町それぞれの人口、面積から算出)	6		人口密度：1,016 人/km <sup>2</sup> (忠生地区下小山田町と鶴川地区小野路町それぞれの人口、面積から算出)	6		6	
		④市境からの距離	市境に隣接 (多摩市)	0		973m (相模原市)	1		734m (多摩市)	1		1	
	4) 経済性	①用地取得費	0 円 (市有地のため)	5	11	0 円 (市有地のため)	5	12	用地価格：5 億 4,178 万円	2	8	5	13
		②初期整備費、ライフライン整備費	【合計】：6 億 434 万円 ・造成費：3 億 2,390 万円 ・進入路整備費：2 億 280 万円 ・ライフライン整備費：7,764 万円	6		【合計】：4 億 5,790 万円 ・造成費：1,680 万円 ・進入路(立体交差)整備費：1 億 9,110 万円 ・建物解体費：2 億 5,000 万円 ・ライフライン整備費：0 円	7		【合計】：7 億 1,140 万円 ・造成費：6 億 2,370 万円 ・進入路整備費：8,300 万円 ・ライフライン整備費：470 万円	6		8	
総合得点			43		52		40		77				

※「6)分散化」の項目を加味すると、合計が 100 点満点になる。

評価項目	番号	(4)		(5)		(6)		配点		
		候補地名	北部丘陵整備事業用地(b)サイト内候補地	北部丘陵整備事業用地(c)サイト内候補地	清掃第二事業場(ビン・カン)		小項目ごとの配点	大項目ごとの配点		
		面積	約 10,000 m <sup>2</sup>	約 20,000 m <sup>2</sup>	20,934 m <sup>2</sup>					
		所在地	上小山田町 2136 番地 他	小野路町 1176 番地 他	下小山田町 3267 番地					
		区域	市街化調整区域		市街化調整区域		準工業地域			
		点数		点数		点数				
1) 機能／維持管理	①-1 敷地の形状	平場面積は 7,500m <sup>2</sup>	1	平場面積は 7,500m <sup>2</sup>	1	平場面積が 11,700m <sup>2</sup> 以上	5	16	5	19
	①-2 地盤状況等	「表層地盤のゆれやすさ」では黄色評価	2	「表層地盤のゆれやすさ」では黄緑色評価	4	「表層地盤のゆれやすさ」では黄緑色評価	4		4	
	②開発行為や建築行為に対する規制等	都市計画決定が必要である。	2	都市計画決定が必要である。	2	都市計画決定が必要である。	2		5	
	③収集運搬の効率	総トリップ：606,402km	3	総トリップ：488,544km	5	総トリップ：470,623km	5		5	
2) 環境	①緑地等の保全、希少動植物の保全・配慮	・「水と緑の拠点」に該当	4	・「水と緑の拠点」「保全候補地」に該当 ・NPO 法人まちだ結の里を中心として、里山保全活動が行われている。	0	・敷地が「樹林地」「水と緑の拠点」「保全候補地」「市民の森」「緑地保全の森」のいずれにも該当しない。	10	17	10	22
	②水源地の保全	【候補地からの距離】 ・河川：小山田川 95m ・湧水：鶴見川源流の泉 421m	0	【候補地からの距離】 ・河川：竜沢第 1 用水 87m ・湧水：310m	0	【候補地からの距離】 ・河川：馬駟川 296m ・湧水：半径 500m 以内になし	2		7	
	③周辺道路の整備状況	・歩道を持たない一車線道路に面している。 ・候補地に面するような形で道路整備が行われる予定はない。	1	・候補地は道路に面していない。 ・候補地に面するような形で道路整備が行われる予定はない。	0	・歩道を持つ 2 車線道路に面している。	5		5	
3) 土地利用	①教育・福祉施設等への配慮	【半径 500m 以内の施設数】 ・教育施設：0 ・福祉施設：2 (竹清会老人ホーム花美郷、老人ホーム美郷) ・通学路：小山田小学校の通学路とは半径 328m 離れている。	3	【半径 500m 以内の施設数】 ・教育施設：1(日本大学第三高校) ・福祉施設：0 ・通学路：函師小学校の通学路とは 16m 離れている。	0	【半径 500m 以内の施設数】 ・教育施設：6 (桜美林大学、桜美林高校、桜美林中学校、桜美林幼稚園、小山田中学校、桜台保育園) ・福祉施設：4 (ニーズセンター花の家、特別養護老人ホーム町田誠心園、町田市大賀藕絲館、ふれあいさくら館) ・通学路：函師小学校の通学路は敷地に接している。	0	7	6	23
	②類似施設の状況	【候補地からの距離】 南多摩斎場：254m	4	【候補地からの距離】 町田市最終処分場：1,373m	10	【候補地からの距離】 町田市最終処分場に隣接している。	0		10	
	③地域住民の居住状況	人口密度：1,541 人/km <sup>2</sup> (忠生地区上小山田町)	6	人口密度：1,016 人/km <sup>2</sup> (忠生地区下小山田町と鶴川地区小野路町それぞれの人口、面積から算出)	6	人口密度：1,755 人/km <sup>2</sup> (忠生地区下小山田町と忠生地区函師町それぞれの人口、面積から算出)	6		6	
	④市境からの距離	239m (八王子市)	0	1,017m (多摩市)	1	772m (相模原市)	1		1	
4) 経済性	①用地取得費	0 円 (市有地のため)	5	0 円 (市有地のため)	5	0 円 (市有地のため)	5	13	5	13
	②初期整備費、ライフライン整備費	【合計】：6 億 3,742 万円 ・造成費：5 億 2,930 万円 ・進入路整備費：7,230 万円 ・ライフライン整備費：3,582 万円	6	【合計】：5 億 1,236 万円 ・造成費：4 億 6,540 万円 ・進入路整備費：4,000 万円 ・ライフライン整備費：696 万円	7	【合計】：2,000 万円 ・造成費：1,000 万円 ・建物解体費：1,000 万円 ・進入路整備費：0 円 ・ライフライン整備費：0 円	8		8	
総合得点			37		41		53		77	

※「(6)分散化」の項目を加味すると、合計が 100 点満点になる。

	番号	(7)	(8)	※						
	候補地名	ごみ処理場(竜谷)	相原エリア	リレーセンターみなみ						
	面積	19,264 m <sup>2</sup>	約 10,000 m <sup>2</sup>	1,024 m <sup>2</sup>						
	所在地	下小山田町 1451、1457、1458 番地	相原町 3881	鶴間 467-5						
	区域	市街化調整区域	市街化調整区域	準工業地域						
		点数	点数	点数						
1) 機能 ／維持 管理	①-1 敷地の形状	平場面積が必要最低面積を満たさないが、施設の配置は可能である。しかし施設配置に余裕がなく、付帯機能を十分に設置できない。	0	10	0	6	—	11	5	19
	①-2 地盤状況等	「表層地盤のゆれやすさ」では黄緑色評価	4	10	4	6	4	11	4	
	②開発行為や建築行為に対する規制等	都市計画決定が必要である。	2	10	2	6	2	11	5	
	③収集運搬の効率	総トリップ：548,903km	4	10	0	6	5	11	5	
2) 環境	①緑地等の保全、希少動植物の保全・配慮	・「水と緑の拠点」「保全候補地」に該当	1	3	7	8	10	16	10	22
	②水源地の保全	【候補地からの距離】 ・河川：大沢川 251m ・湧水：半径 500m 以内になし	2	3	0	8	5	16	7	
	③周辺道路の整備状況	・候補地の北側は歩道を持つ 2 車線道路に面しているが、候補地内の傾斜が急であるため、施設配置予定場所から敷地北側の道路に抜けられない。 ・候補地の南側は道路に面していない。 ・候補地に面するような形で道路整備が行われる予定はない。	0	3	1	8	1	16	5	
3) 土地 利用	①教育・福祉施設等への配慮	【半径 500m 以内の施設数】 ・教育施設：1 (こころ保育園) ・福祉施設：1 (ロイヤルライフ多摩) ・通学路：小山田小学校の通学路は 26m の距離にある。	0	16	0	14	0	11	6	23
	②類似施設の状況	【候補地からの距離】 多摩清掃工場：1,215m	10	16	10	14	10	11	10	
	③地域住民の居住状況	人口密度：1,001 人/km <sup>2</sup> (忠生地区下小山田町)	6	16	4	14	0	11	6	
	④市境からの距離	市境に隣接(多摩市)	0	16	0	14	1	11	1	
4) 経済 性	①用地取得費	0 円(市有地のため)	5	13	3	11	5	13	5	13
	②初期整備費、ライフライン整備費	【合計】：1 億 5,650 万円 ・造成費：1 億 760 万円 ・進入路整備費：3,600 万円 ・ライフライン整備費：1,290 万円	8	13	8	11	8	13	8	
総合得点			42		39		51		77	

※「6)分散化」の項目を加味すると、合計が 100 点満点になる。